

小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事

図面リスト

意匠図			
A01	改修特記仕様書(1)	A11	建具表1【参考図】
A02	改修特記仕様書(2)	A12	建具表2【参考図】
A03	改修特記仕様書(3)		
A04	付近見取図・配置図		
A05	平面図【参考図】		
A06	R階平面図・屋外階段詳細図【参考図】		
A07	平面詳細図		
A08	立面図		
A09	矩計図		
A10	天井伏図		

2024.04
小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事 特記仕様書
I 工事概要
1. 工事場所 高知市小石木町192番地
2. 工事種目 【小石木老人福祉センター】 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積480.94㎡
1) 外壁改修 一式
2) スロープ改修 一式
3. 関連工事等
4. 概成工期
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)
II 建築工事仕様
1. 特記仕様
2. 適用基準等
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について

項目 特記事項
配置人員の資格
1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。
※交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。
資格要件
1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)
交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)
6人
工事安全計画書
10 工務安全衛生管理
11 衛生材の処理
12 産業廃棄物の運搬
労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
特別管理産業廃棄物の施工計画調査
※行う
※行わない

項目 特記事項
19 施工数量調査
調査範囲
調査方法
20 技能士及び技能資格者
技能検定の作業の種別
21 化学物質の室内濃度の測定
化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を監督職員に提出する。
測定方法
測定対象化学物質
測定箇所
測定対象室
22 直接仮設の養生
23 建築材料等
24 特別な材料の工法
25 風圧力
26 仕上面の出隅処理

項目 特記事項
一般共通事項
1 工事実績情報サービス(CORINS)への登録
2 総合工程表
3 総合図
4 工事日誌
5 工事写真
6 下請負者の報告
7 電気保安技術者
8 施工条件
9 交通誘導警備員

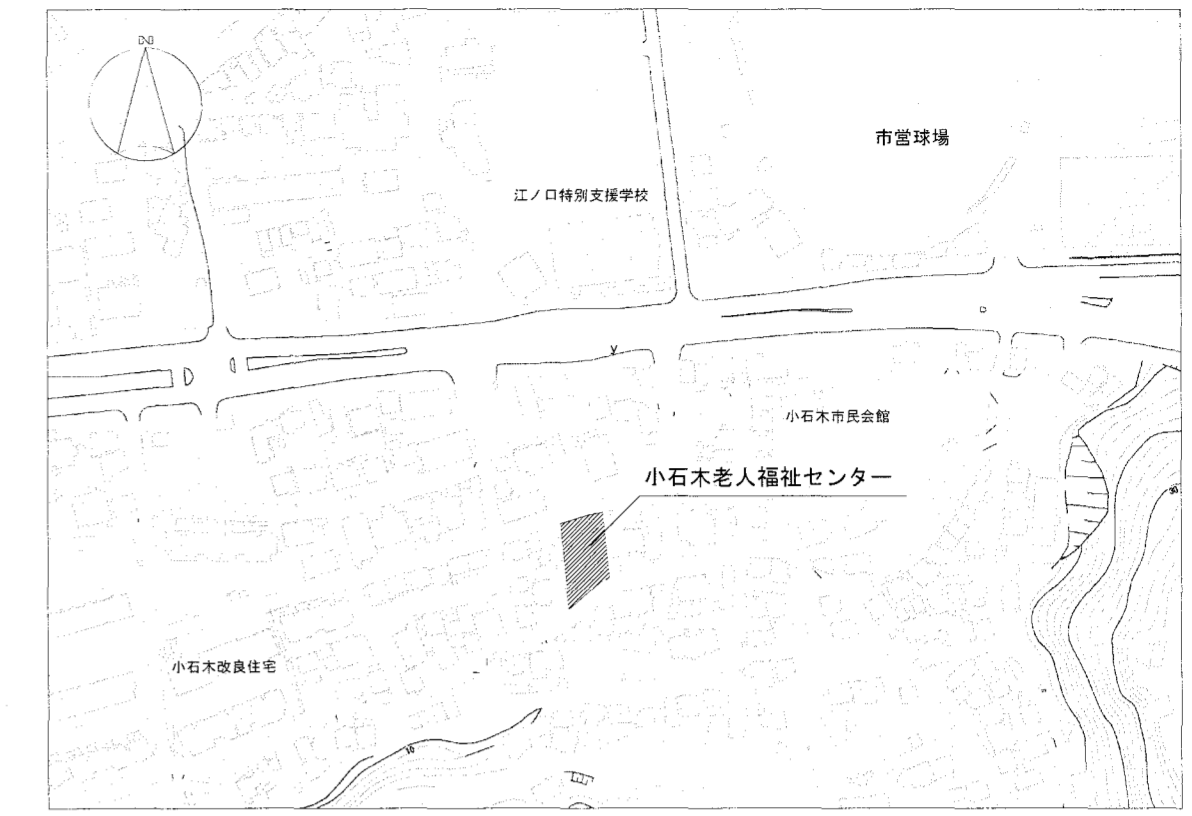
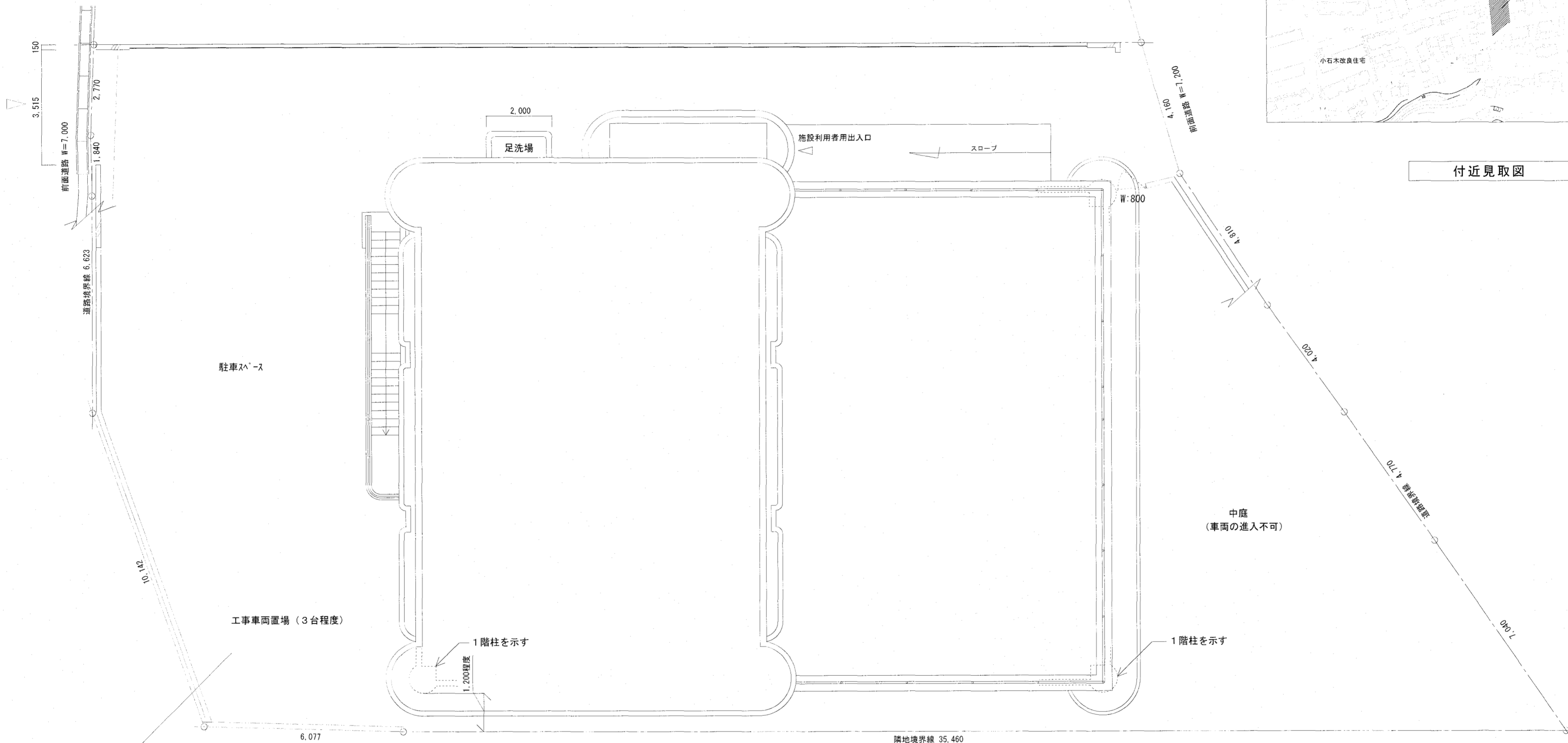
13 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出
14 工事の保険
15 契約保証
16 前払金支出割合区分補正
17 証明書の提出(グリーン購入法)
18 石綿含有建材の調査

27 内部養生
28 内部養生
29 内部養生
30 内部養生
31 内部養生
32 内部養生
33 内部養生
34 内部養生
35 内部養生
36 内部養生

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] [2.4.1] 備品の種類 機・椅子 書 棚 黒 板 P C 掛 時 計 数 量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数 量 個 足 着 個 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付原器 数 量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数 量 個	28 完成時の提出図書	完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図) [1.9.1][1.9.2] 完成図(CADデータの提出 ※2部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。
29 完成写真	下巻のものを監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部 数 原版の大きさ(mm) ・各室 手札版(1版) ※2枚・枚 ※1部・部 100×125以上 ・外部 キヤビネ版 ※4枚・枚 ※1部・部 24×36以上 ・外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚・枚 ※1部・部 ・ スライド ※1部・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上記のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット:JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル程度	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ※利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ※利用できる (※有償・無償) ※利用できない	30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	7 仮囲い	※ 図示	32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次に従う。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者は、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※ 原形の復旧 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。
35 仮設工事(改修)	内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 材料、撤去材の運搬方法 ・防護シート ○メッシュシート ○防音シート ・A種 ※B種 - C種 - D種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示)	防水改修工事	1 シーリング シーリング改修工事の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ポンドグレーカー張り ・適用する [3.7.7] エッジング材張り ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) 種類(記号) 主成分による区分 施工箇所 ・SR-1 シリコン系 ・SR-2 シリコン系 ○MS-2 変成シリコン系 すべて ・PS-2 ポリサルファイド系 ・PU-2 ポリウレタン系 仕上を行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] 箇所 打継ぎ/ひび割れ誘発目地 ガラス回りの目地 左記以外の目地 幅(mm) ※20以上 ※幅及び深さ5以上 [5.13] ※10以上 深さ(mm) ※10以上 ※.3]による場合を除く ※10以上 [3.7.8] 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] 材 種 寸 法 施 工 箇 所 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※たてどい ○硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP) φ100, φ75 ※たてどい ・硬質塩化ビニル雨どい ※軒どい ・たてどい とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材種: ※ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ [3.8.2] 既存のといその他の撤去 [3.8.3] 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による 図示 [3.8.3] 鋼管製といの防露巻き たてどい受金物の取付け ルーフトレンの取付け ・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。	36 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。
37 養生	・ 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※図示 ○ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	外壁改修工事(共通事項)	1 材料品質 可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 標準 1.0以上 標準 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 破断時の伸び 10.0%以上 加熱劣化1.0以上 加熱劣化30.0以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 パテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。	37 養生	・ 屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。
38 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 A種 B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材質 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※ 図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 図示	外壁改修工事	1 ひび割れ部改修工事 ① ひび割れ部改修工事 ② 欠損部改修工事 ③ 樹脂注入工法 [4.2.5] 種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上1.0以下 ※ 200~300 ※製造所の仕様 ・130 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 ・50~100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 ・100~200 ※70 0.5以上1.0以下 ・150~250 ※130 コア抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による) ④ カットシール材充填工法 [4.2.6] ○ シーリング材 充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ⑤ シール工法 [4.2.7] ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※ 充填工法 [4.2.8] ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ⑥ 樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6] 種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上1.0以下 ※ 200~300 ※製造所の仕様 ・130 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 ・50~100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 ・100~200 ※70 0.5以上1.0以下 ・150~250 ※130 コア抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による) ⑦ カットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ・シーリング材 充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ⑧ シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ⑨ 充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ⑩ モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示	38 仮設間仕切り(屋内)	図面形式等 フォーマット:JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル程度
39 監督職員事務所	設ける(程度) ※設けない	2 欠損部改修工事	2 欠損部改修工事	39 監督職員事務所	設ける(程度) ※設けない

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																						
3 浮き部改修工法	<p>改修工法の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>狭幅部</th> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>狭幅部</th> </tr> <tr> <th>本/m²</th> <th>本/m²</th> <th>本/m</th> <th>箇所/m²</th> <th>箇所/m²</th> <th>箇所/m²</th> <th>箇所/m</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 5.0mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 5.0mL</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 [4.3.5] 注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm [4.3.5] ・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分	指定部分	狭幅部	一般部分	指定部分	狭幅部	本/m ²	本/m ²	本/m	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m		・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 2.5mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 5.0mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 5.0mL	5 目地改修工法	<p>・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法</p> <p>目地改修工法 [4.4.16] 伸縮調整目地改修工法 [4.4.16] 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	タイル工事	<p>位置 ※表11.1.1による (11.1.3)(表11.1.1) ・図示</p> <p>(11.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐凍り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スロープ</td> <td>100角</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>標準品</td> </tr> <tr> <td>スロープ</td> <td>100角φ75タイル</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>標準品</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする タイルの試験張り ※行わない ・行う (11.1.4) タイルの見本焼き ※行わない ・行う 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法 (11.2.6) 壁タイル張りの工法 内装タイル ※改良積上げ張り 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り (11.2.3) 既調合モルタル タイル工用の張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を工場において所定の割合に配合したものとす。 (11.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐凍り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする タイルの試験張り ※行わない ・行う (11.1.4) タイルの見本焼き ※行わない ・行う 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 外装タイルにおける目地詰め ・行う ・行わない (11.3.3)(11.3.5) 外装タイル接着剤における目地のシーリング材 ※ポリウレタン系 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※変成シリコン系 (11.3.4) 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 ・MCR工法 (11.3.5)</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色		耐凍害性	耐凍り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))	I類	II類	III類	施釉	無釉	スロープ	100角	○	○	○	○	○	○	○	○	標準品	スロープ	100角φ75タイル	○	○	○	○	○	○	○	○	標準品	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色		耐凍害性	耐凍り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))	I類	II類	III類	施釉	無釉			○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																																																																				
	一般部分	指定部分	狭幅部	一般部分	指定部分	狭幅部																																																																																																																																																																																																																					
本/m ²	本/m ²	本/m	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m																																																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 5.0mL																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 5.0mL																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色		耐凍害性	耐凍り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																																																																																																																																	
		I類	II類	III類	施釉	無釉																																																																																																																																																																																																																					
スロープ	100角	○	○	○	○	○	○	○	○	標準品																																																																																																																																																																																																																	
スロープ	100角φ75タイル	○	○	○	○	○	○	○	○	標準品																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色		耐凍害性	耐凍り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																																																																																																																																	
		I類	II類	III類	施釉	無釉																																																																																																																																																																																																																					
		○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																		
外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>1 タイル材料</p> <p>タイルの形状、寸法等 [4.4.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐凍り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.4.8] タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.4.8]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5][4.4.2][4.4.6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ幅(mm)</th> <th rowspan="2">注入口間隔(mm)</th> <th rowspan="2">注入量(L/m²)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>※ 200~300</th> <th>※ 製造所の仕様 ・130</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※ 40</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※ 70</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※ 130</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>コア抜き取り検査 ※行わない ・行う(長さ500mmごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>3 欠損部改修工法</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.7] 張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化型変成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.2][4.4.5][4.4.8] 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類 () 目地詰め ・行う () 目地詰め ・行わない ()</p> <p>・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 [4.4.8]</p> <p>4 浮き部改修工法</p> <p>改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>狭幅部</th> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>狭幅部</th> </tr> <tr> <th>本/m²</th> <th>本/m²</th> <th>本/m</th> <th>箇所/m²</th> <th>箇所/m²</th> <th>箇所/m²</th> <th>箇所/m</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 5.0mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 5.0mL</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 [4.3.5] 注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm [4.3.5] ・タイル部分張替え工法 [4.4.7] 張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化型変成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.8] 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色		耐凍害性	耐凍り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))	I類	II類	III類	施釉	無釉			○	○	○	○	○	○	○	○		種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(L/m ²)	備考	※ 200~300	※ 製造所の仕様 ・130	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	—	—	—	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※ 40	—	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※ 70	—		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※ 130	—	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分	指定部分	狭幅部	一般部分	指定部分	狭幅部	本/m ²	本/m ²	本/m	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m		・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 2.5mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 5.0mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 5.0mL	<p>1 タイル材料</p> <p>薄付け仕上げ塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・凹凸状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>厚付け仕上げ塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け こて塗り</td> <td>セメント系以外の塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・凹凸状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td>上塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複層仕上げ塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>耐凍性 ※耐凍形3種</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材Si</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td>上塗材の種類[表4.5.2] ※水系アクリル等あり</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RE</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>可とう形改修用仕上げ塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可とう形改修塗材E</td> <td>・平たん状 ・ゆず肌状</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材RE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防火材料の指定 ※なし ・あり(※図示) [4.5.2]</p> <p>4 マスチック塗材塗り</p> <p>種別 ・A種 ・B種 [4.6.2][表4.6.1]</p> <p>5 外壁用塗膜防水材塗り</p> <p>仕上げの形状及び工法 [4.1.5][4.7.2~3][表4.7.1] 仕上げ塗材の耐凍性 下地準動線塗材 ・適用する ・適用しない 模様の種類 仕上げを砂壁状、じゅうらく状等とする場合の模様の種類 仕上げ塗料の種類</p>	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		○外装薄塗材E	○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状	吹付け こて塗り ローラー		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	吹付け ローラー	増塗材 ・適用する	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	セメント系以外の塗材	・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状 ・凹凸状	吹付け こて塗り ローラー	上塗材 ・適用する	・外装厚塗材E	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り ローラー		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐凍性 ※耐凍形3種	○複層塗材Si	・凸部処理	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系アクリル等あり	・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け		・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け		・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する	・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け		・防水形複層塗材RE	・凸部処理	吹付け		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・可とう形改修塗材E	・平たん状 ・ゆず肌状	ローラー 吹付け		・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け		・可とう形改修塗材RE	・ゆず肌状	吹付け		<p>3 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする タイルの試験張り ※行わない ・行う (11.1.4) タイルの見本焼き ※行わない ・行う 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 外装タイルにおける目地詰め ・行う ・行わない (11.3.3)(11.3.5) 外装タイル接着剤における目地のシーリング材 ※ポリウレタン系 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※変成シリコン系 (11.3.4) 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 ・MCR工法 (11.3.5)</p>
施工箇所	形状寸法(mm)			吸水率の区分			色						耐凍害性	耐凍り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																																																																																																																											
		I類	II類	III類	施釉	無釉																																																																																																																																																																																																																					
		○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(L/m ²)	備考																																																																																																																																																																																																																							
					※ 200~300	※ 製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																																																																					
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	—	—	—																																																																																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※ 40	—																																																																																																																																																																																																																							
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※ 70	—																																																																																																																																																																																																																							
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※ 130	—																																																																																																																																																																																																																							
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																																																																				
	一般部分	指定部分	狭幅部	一般部分	指定部分	狭幅部																																																																																																																																																																																																																					
本/m ²	本/m ²	本/m	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m ²	箇所/m																																																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 5.0mL																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 2.5mL																																																																																																																																																																																																																				
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 5.0mL																																																																																																																																																																																																																				
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																																																																								
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																																																																																																																																									
○外装薄塗材E	○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状	吹付け こて塗り ローラー																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー																																																																																																																																																																																																																									
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	吹付け ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																								
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																																																																									
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																																																																								
・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	セメント系以外の塗材																																																																																																																																																																																																																								
・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状 ・凹凸状	吹付け こて塗り ローラー	上塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																								
・外装厚塗材E	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り ローラー																																																																																																																																																																																																																									
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																																																																								
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐凍性 ※耐凍形3種																																																																																																																																																																																																																								
○複層塗材Si	・凸部処理	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系アクリル等あり																																																																																																																																																																																																																								
・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け																																																																																																																																																																																																																									
・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																								
・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																									
・防水形複層塗材RE	・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																									
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																																																																								
・可とう形改修塗材E	・平たん状 ・ゆず肌状	ローラー 吹付け																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形改修塗材RE	・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																									
外壁改修フロー及び数量																																																																																																																																																																																																																											
○コンクリート打放し仕上げ外壁の場合																																																																																																																																																																																																																											
外壁調査(施工数量調査)																																																																																																																																																																																																																											
旧仕上げの撤去 ・全面 ※図示																																																																																																																																																																																																																											
ひび割れ部改修																																																																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法[注1]		ウカドール材充填工法	シール工法		充填工法																																																																																																																																																																																																																						
A) 20.0 m		4.0 m			0.1 m ²																																																																																																																																																																																																																						
B) m																																																																																																																																																																																																																											
C) m																																																																																																																																																																																																																											
D) m																																																																																																																																																																																																																											
下地調整塗材 ・全面 ※図示																																																																																																																																																																																																																											
仕上げ塗材仕上げ ・全面 ※図示																																																																																																																																																																																																																											
(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下、B)0.2以上0.3未満、C)0.3以上0.5未満、D)0.5以上1.0以下を示す。 A)は自動式低圧エポキシ樹脂注入工法を示し、B)・C)・D)は手動式エポキシ樹脂注入工法、機械式エポキシ樹脂注入工法を示す。																																																																																																																																																																																																																											

工事車両出入口



付近見取図

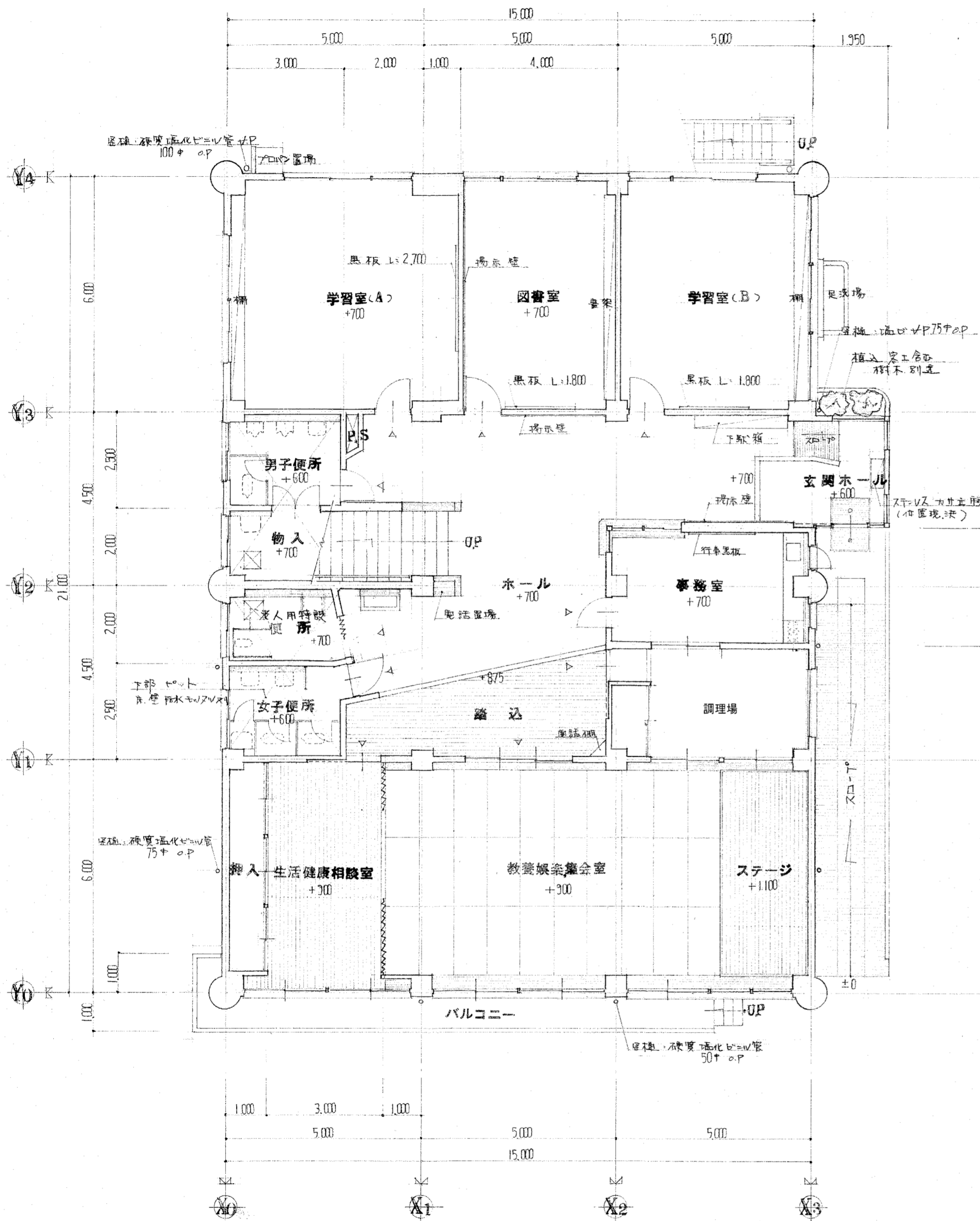
但し、不燃物の取積場所となっているため、毎月第3月曜日は駐車不可。

配置図 S=1/100

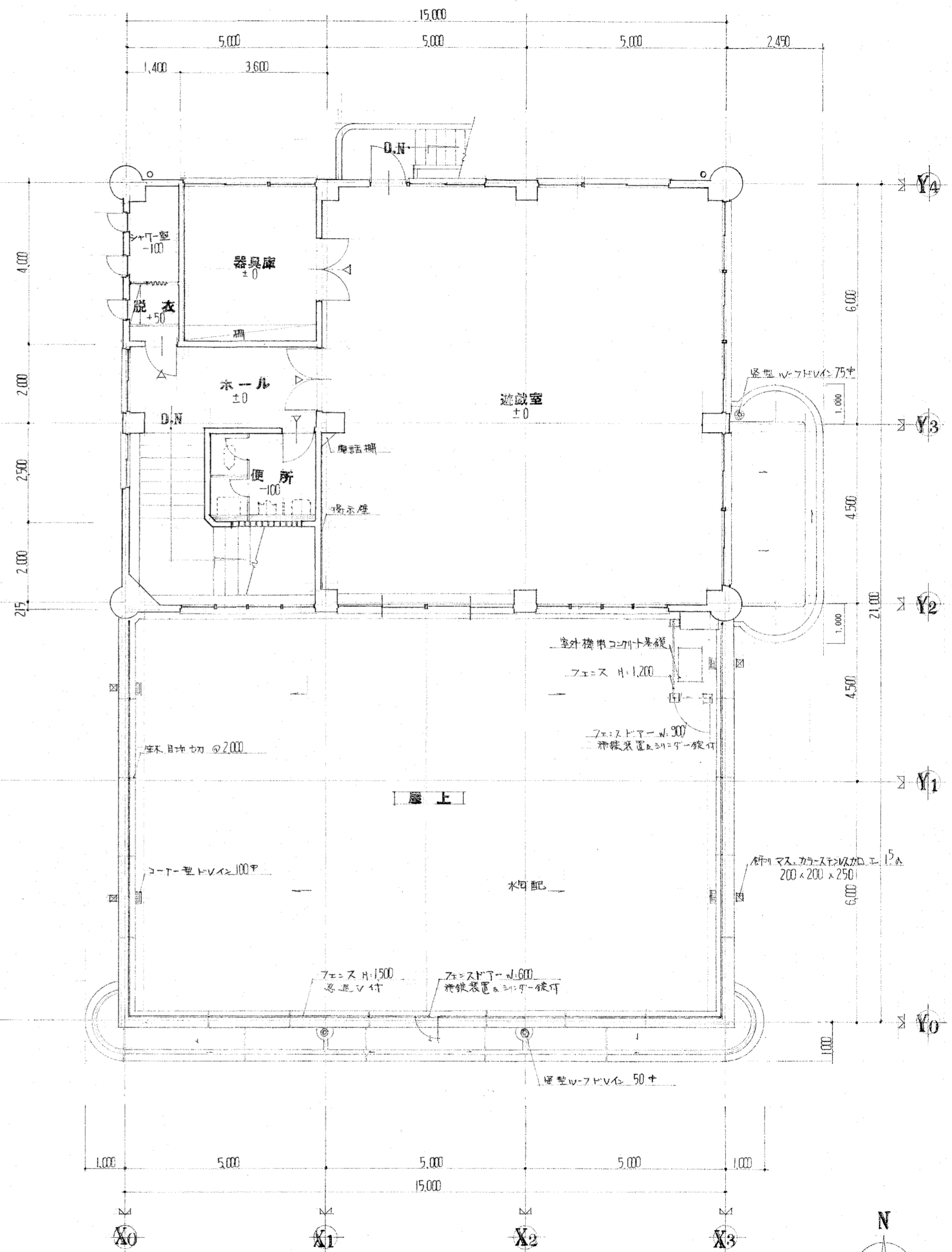
- ※ 外部足場設置の際、西面、東面は防音シートとし、近隣及び歩行者への飛散防止に努める。
- ※ 外部足場設置期間中、ｽｰﾌﾟが通行できるスペースを確保する。
- ※ 施設を利用しながらの工事となるので、作業時間・内容・大きな騒音又は振動を伴う作業については施設管理者と協議のうえ、作業時間を指定する場合があります。
- ※ 食事提供時間中、音の出る作業は行わないものとする。
- ※ ｽｰﾌﾟ改修の際も、宅老事業利用者の出入り時間帯は、ｽｰﾌﾟが通行できる状況とする。なお、それ以外の時間帯も宅老事業者の出入りを別途確保すること。
- ※ 施設利用状況
 - ・なごやか宅老事業 月曜から土曜、9:00から17:00。日曜休館。
 - (内、宅老事業利用者出入り時間、11:00から14:00。(12:00~13:00食事提供時間))
 - ・小石木児童館 令和6年9月1日より工事期間中は小石木市民会館へ機能を移動する。

高知市 都市建設部 公共建築課

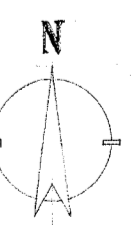
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事	和	田	清	口	A-04
図面名 付近見取図・配置図	縮尺 1/100	作図 令和6年 6月 日			



1 階平面図

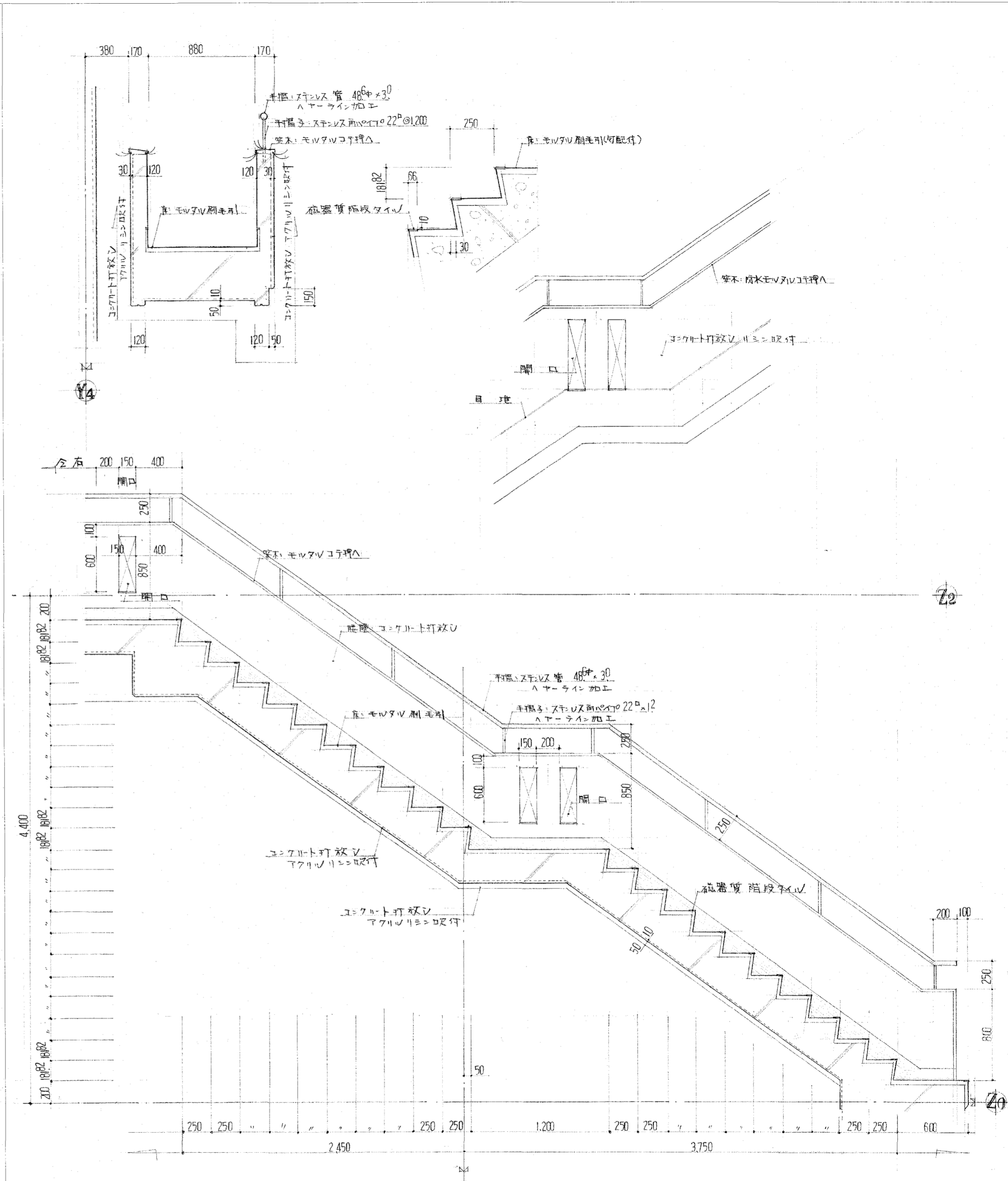
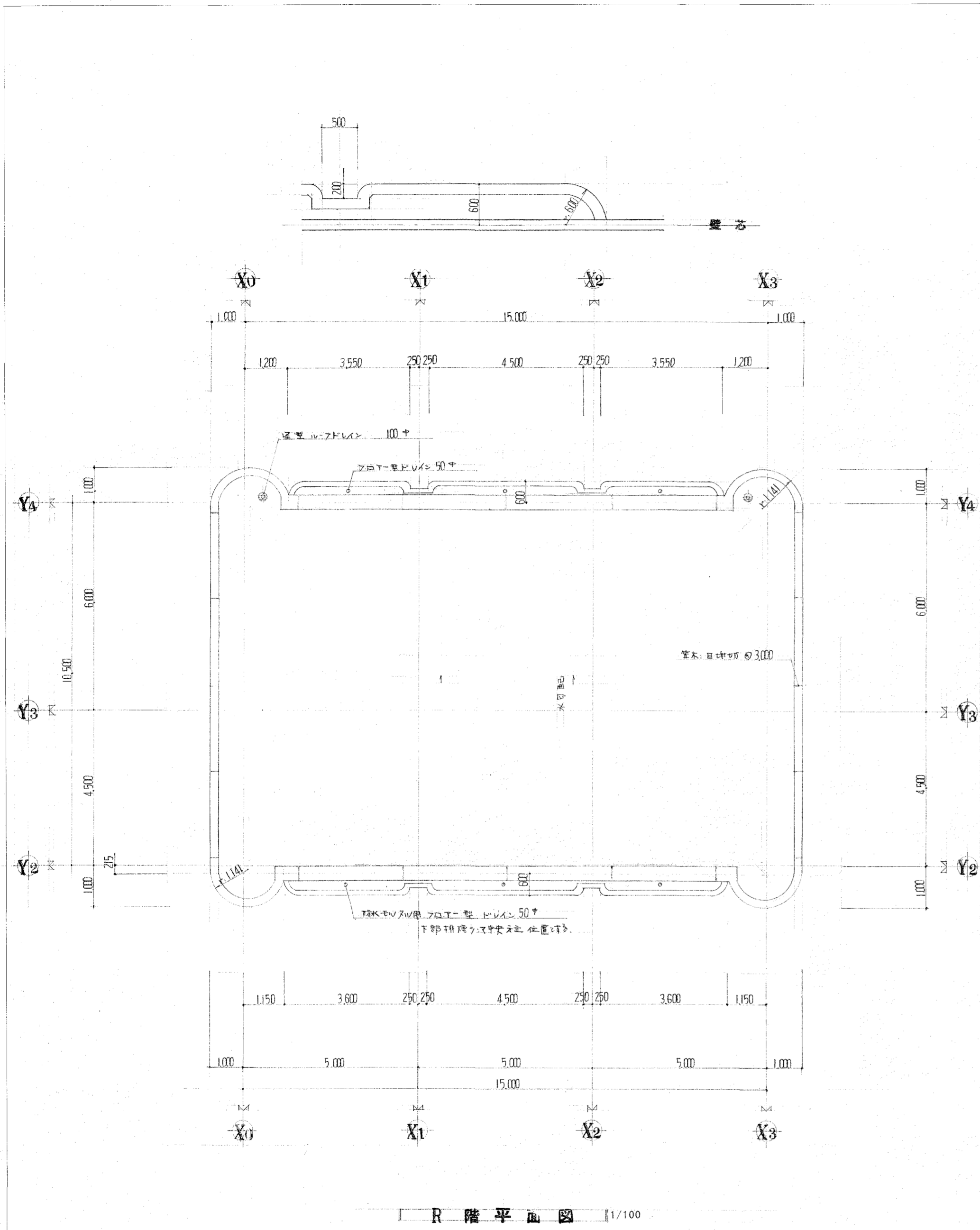


2 階平面図 S = 1 : 100



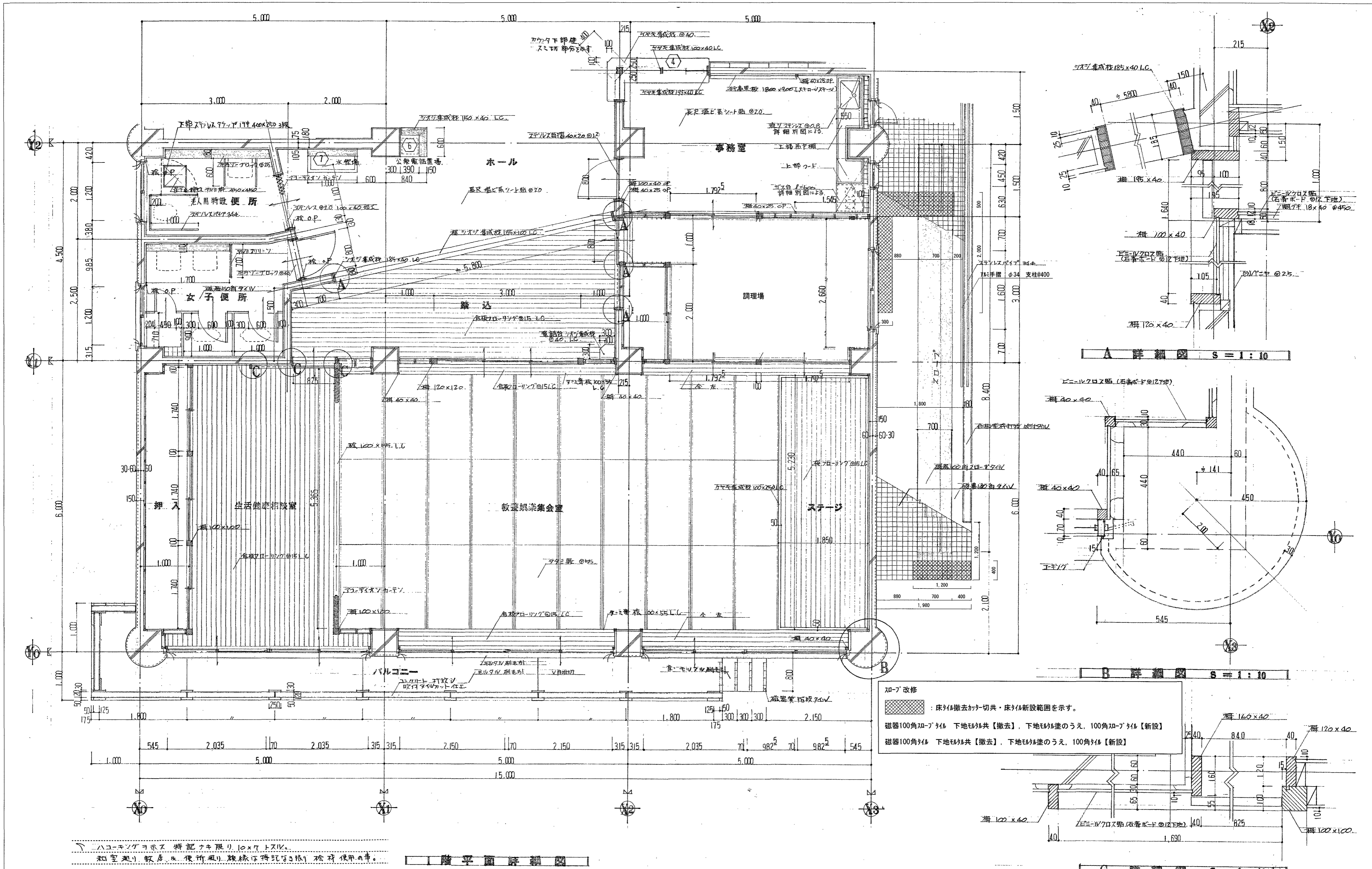
【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事			係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	平面図【参考図】	縮尺	1 / 100	作図	令和6年	6月	日	A-05

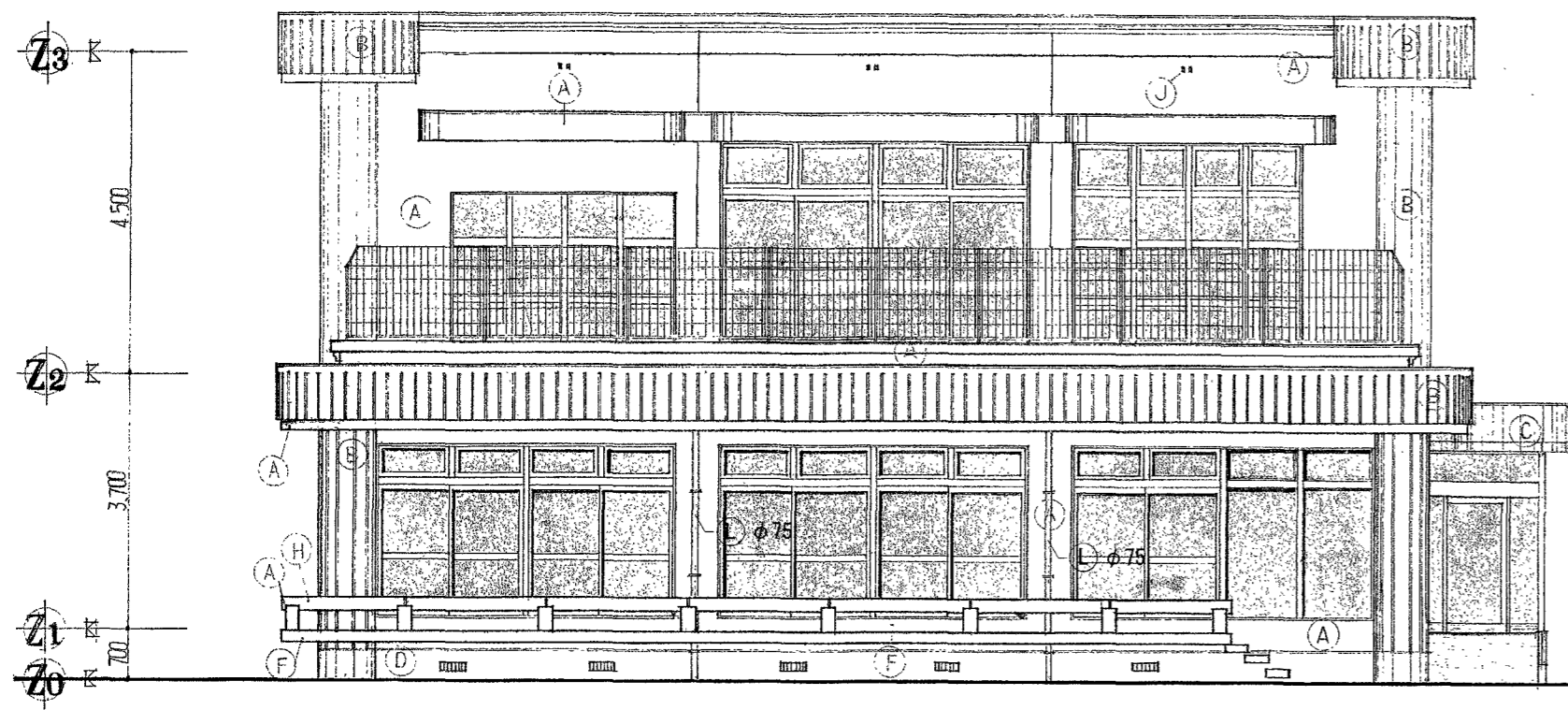


【参考図】

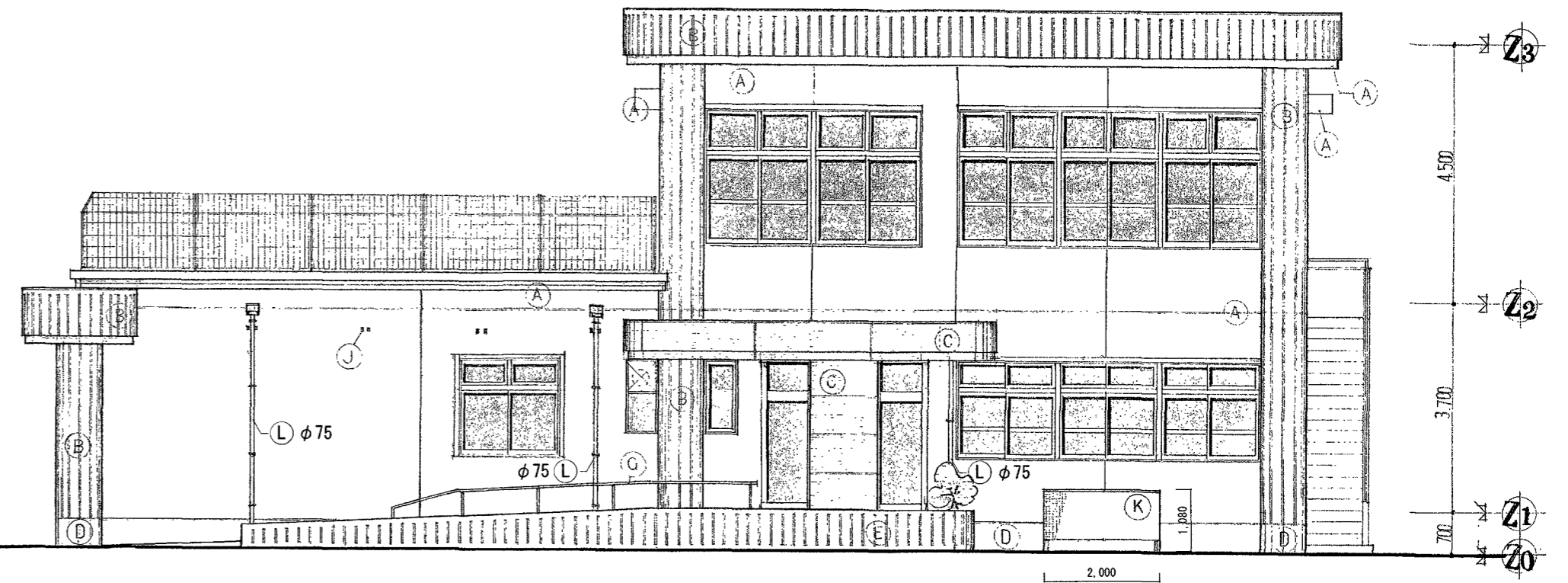
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				小石老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事					
図面名				R階平面図・屋外階段詳細図【参考図】	縮尺	1/100	1/30	作図	令和6年 6月 日



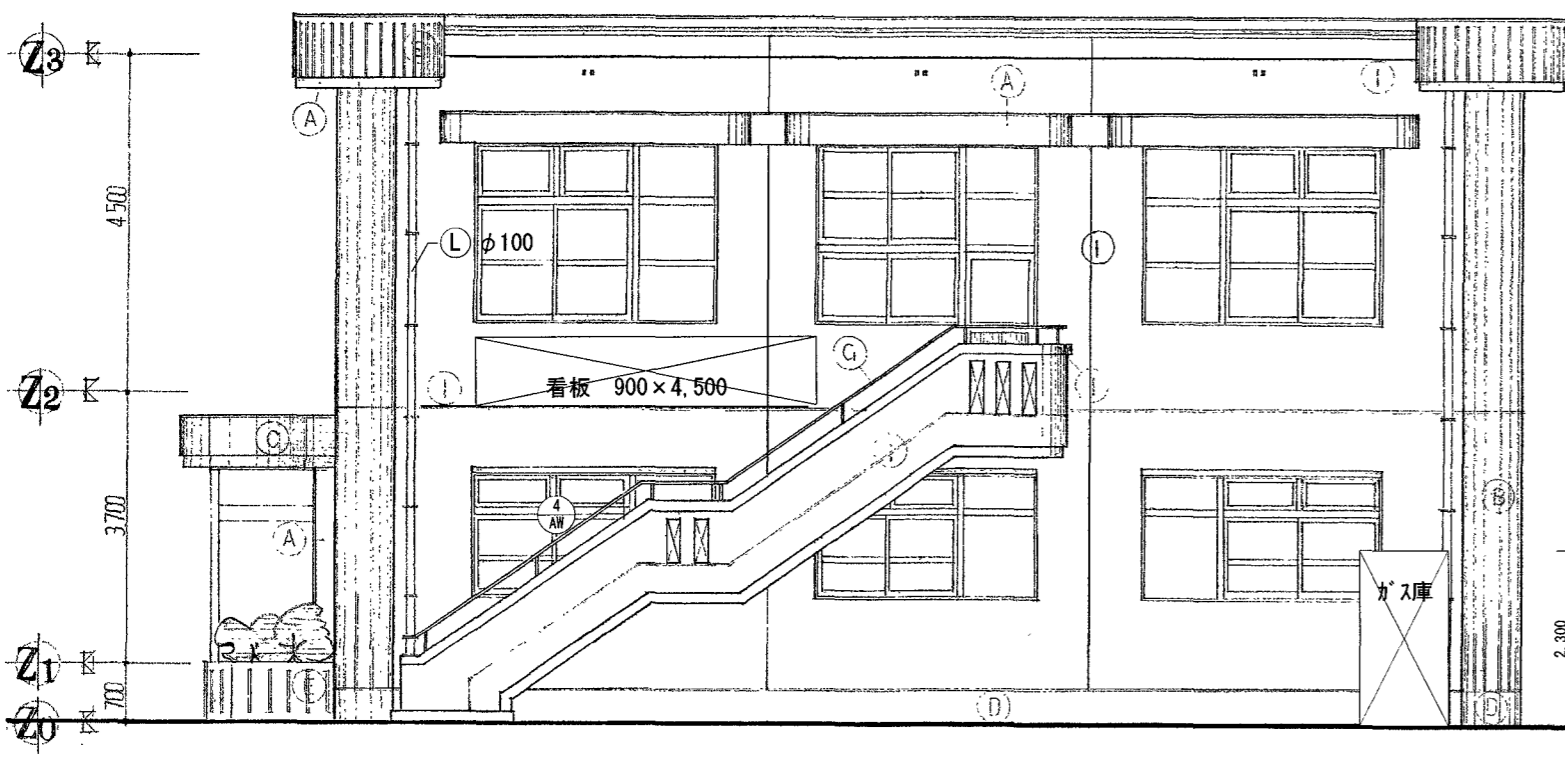
高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事	係 和 田	係長 澤 田	課長補佐 濱 田	課長 松 本	図面番号 A-07
図面名	平面詳細図	縮尺	1/50, 1/10		作図	令和6年 6月 日	



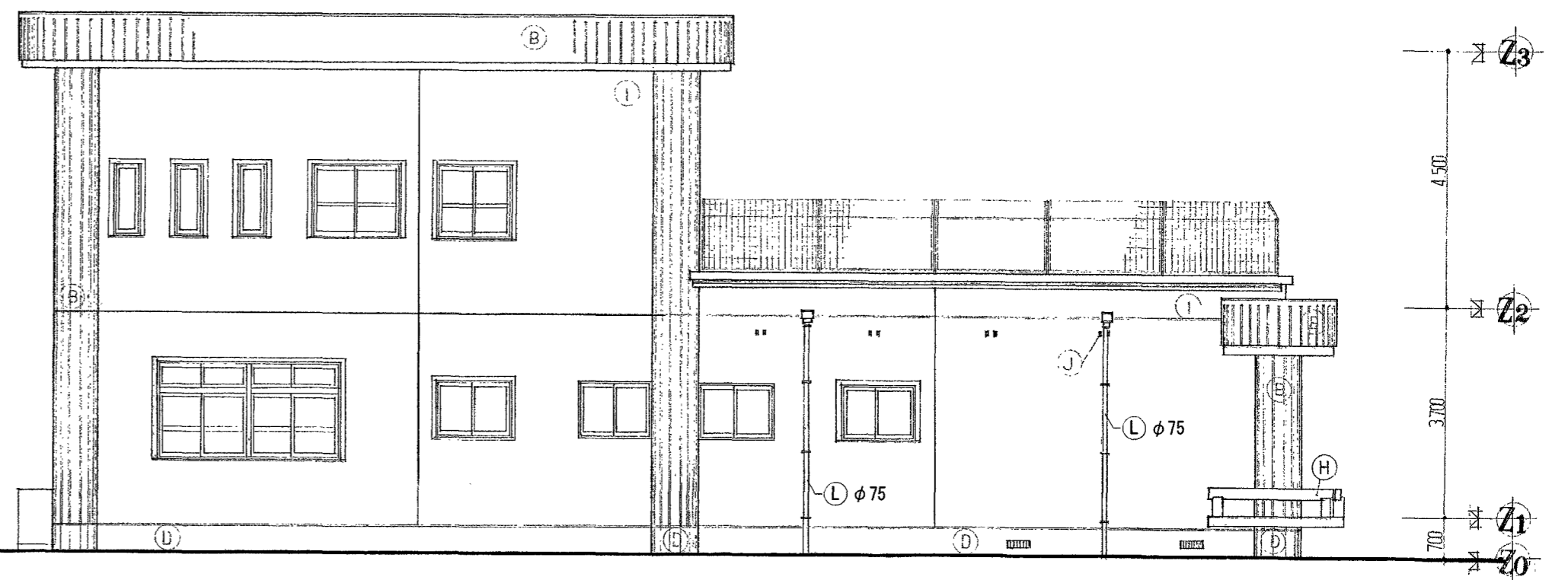
南面立面図



東面立面図



北面立面図



西面立面図

既存外部仕上表	改修後
(A) コンクリート打放し取付タイルカネ工事	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(B) リア付型枠コンクリート打放し取付タイルカネ工事	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(C) アルミカーテンパネル 目隠し用	既存のまま
(D) コンクリート打放し	水洗い工法
(E) リア付型枠コンクリート打放し	水洗い工法
(F) モルタル刷毛目	水洗い工法
(G) 手摺・ステップス ハードウレイン加工	既存のまま
(H) 平窓・コンクリート打放し取付タイルカネ工事	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(J) コンクリート打放し・アルミリネン取付	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(I) 環境配慮型 遮熱性能 50%超断熱付OP	既存のまま
(K) 磁気 50 円ダイヤル 貼	既存のまま
(L) 硬質塩化ビニル管 径は立面図による	既存撤去、硬質ポリ塩化ビニル管(PP-VP)新設 固定金物共

外壁改修		合計
ひび割れ (0.2以上~1.0mm未満)	樹脂注入工法	20.00 m
ひび割れ (1.0mm以上)	Uカット材充填工法	4.00 m
欠損	充填工法 (E*杉樹脂E8%)	0.10 m ²

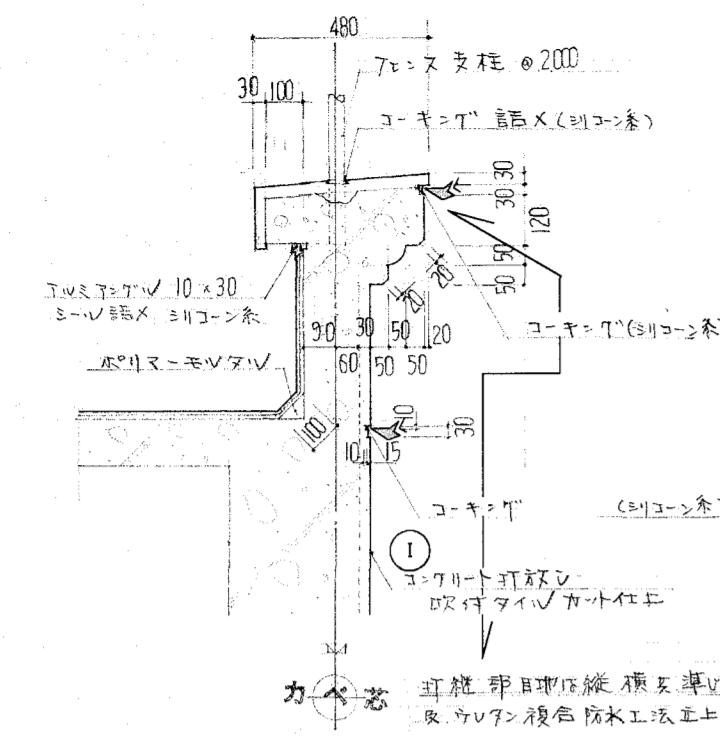
- ※ (C)・(K) 看板及びガス庫背面は、施工数量調査及び外壁改修範囲外とする。
- ※ 数量及び工法は予定とし、施工数量調査の結果により変更する。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング打替え MS-2(10×10)二重水切り共 (AW-4)は除く。
- ※ 目地シーリング打替え MS-2(10×10)たてよこ共

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名
小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事

図面名 立面図 縮尺 1/100

係長 課長補佐 課長 図面番号
和 田 津 口 松 木 橋 村
作 図 令和6年 6月 日 A-08

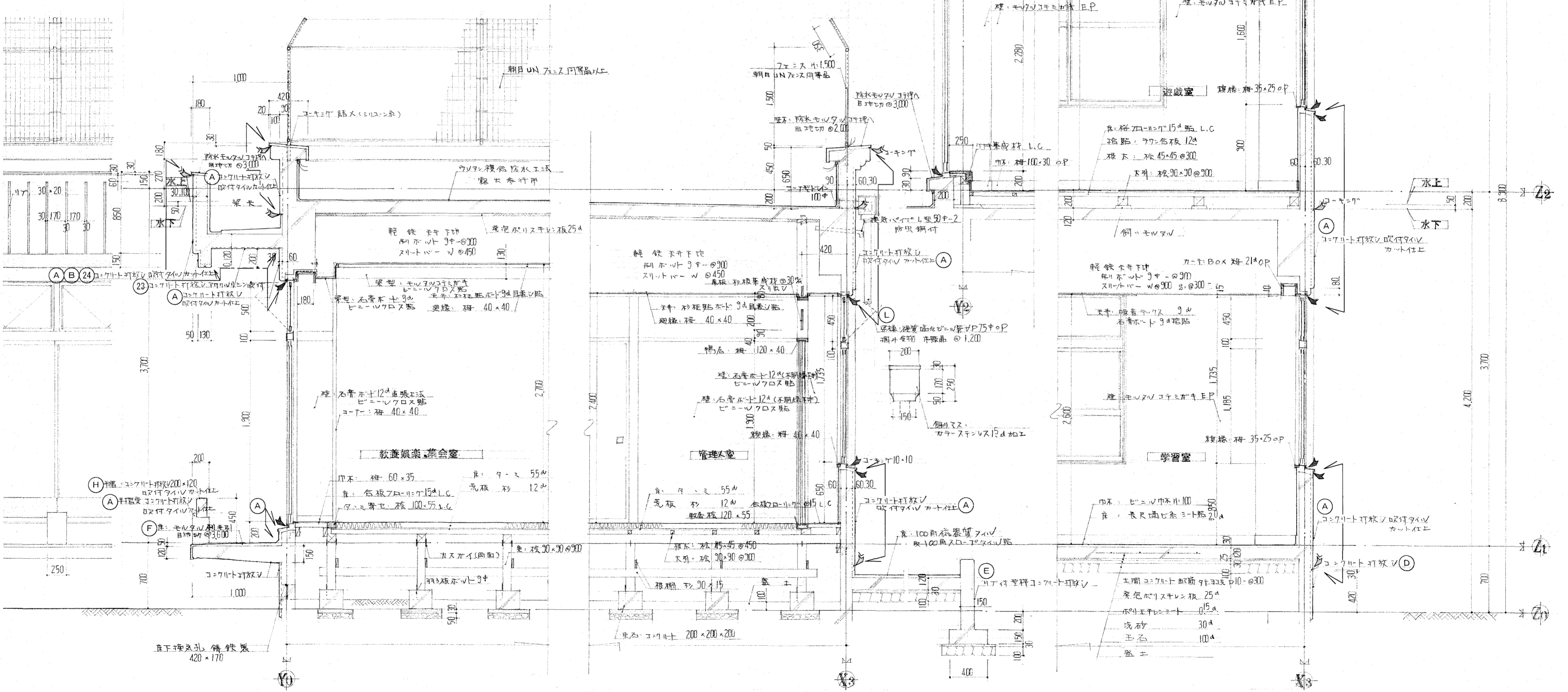


凡例

改修後	
(A)	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(B)	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(C)	既存のまま
(D)	水洗い工法
(E)	水洗い工法
(F)	水洗い工法
(G)	既存のまま
(H)	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(I)	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(J)	既存のまま
(K)	既存のまま
(L)	既存撤去、硬質ポリ塩化ビニル管カバー(カーVP)新設 固定金物共

改修後	
(23)	水洗い工法のうえ、外装薄塗材E
(24)	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E

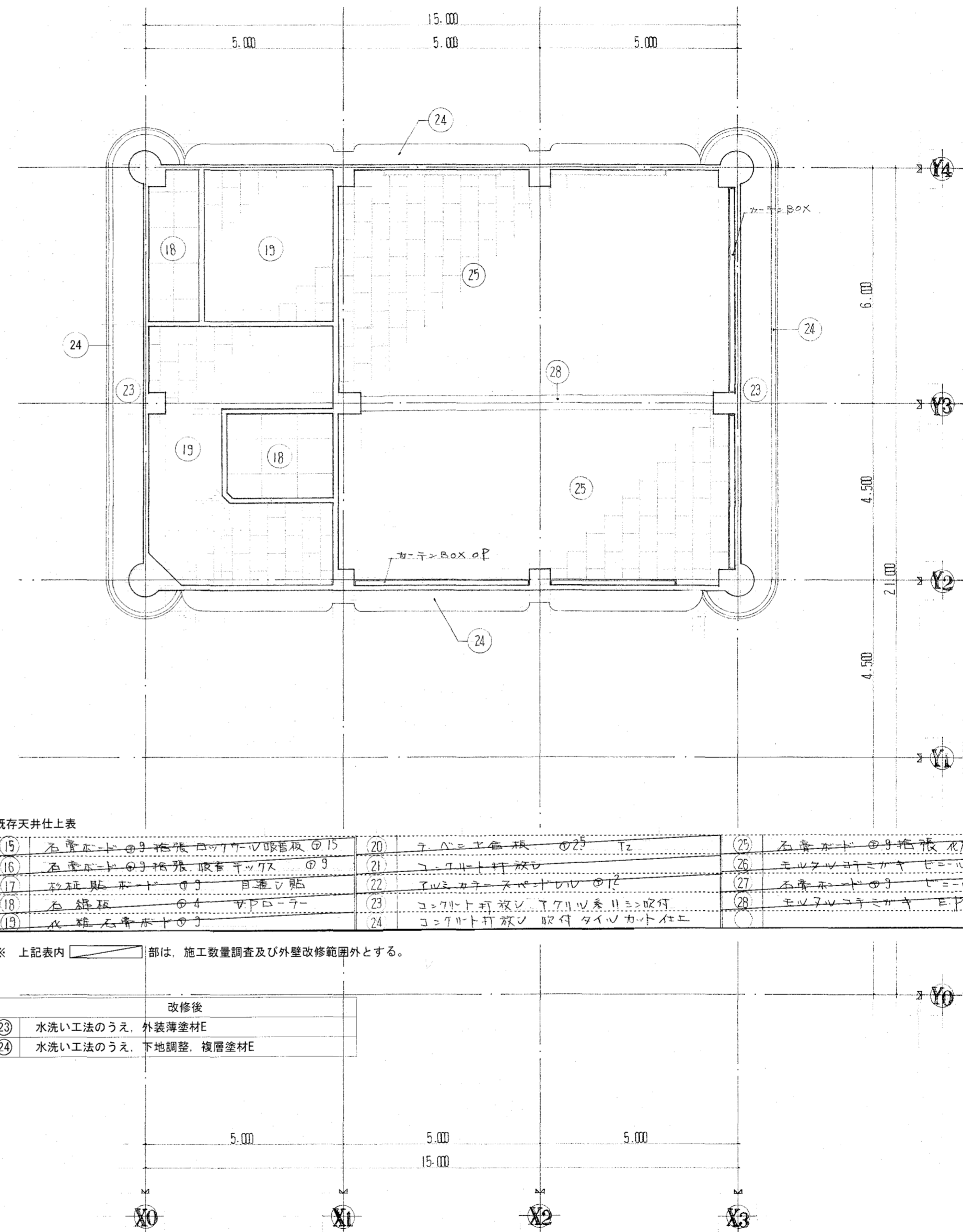
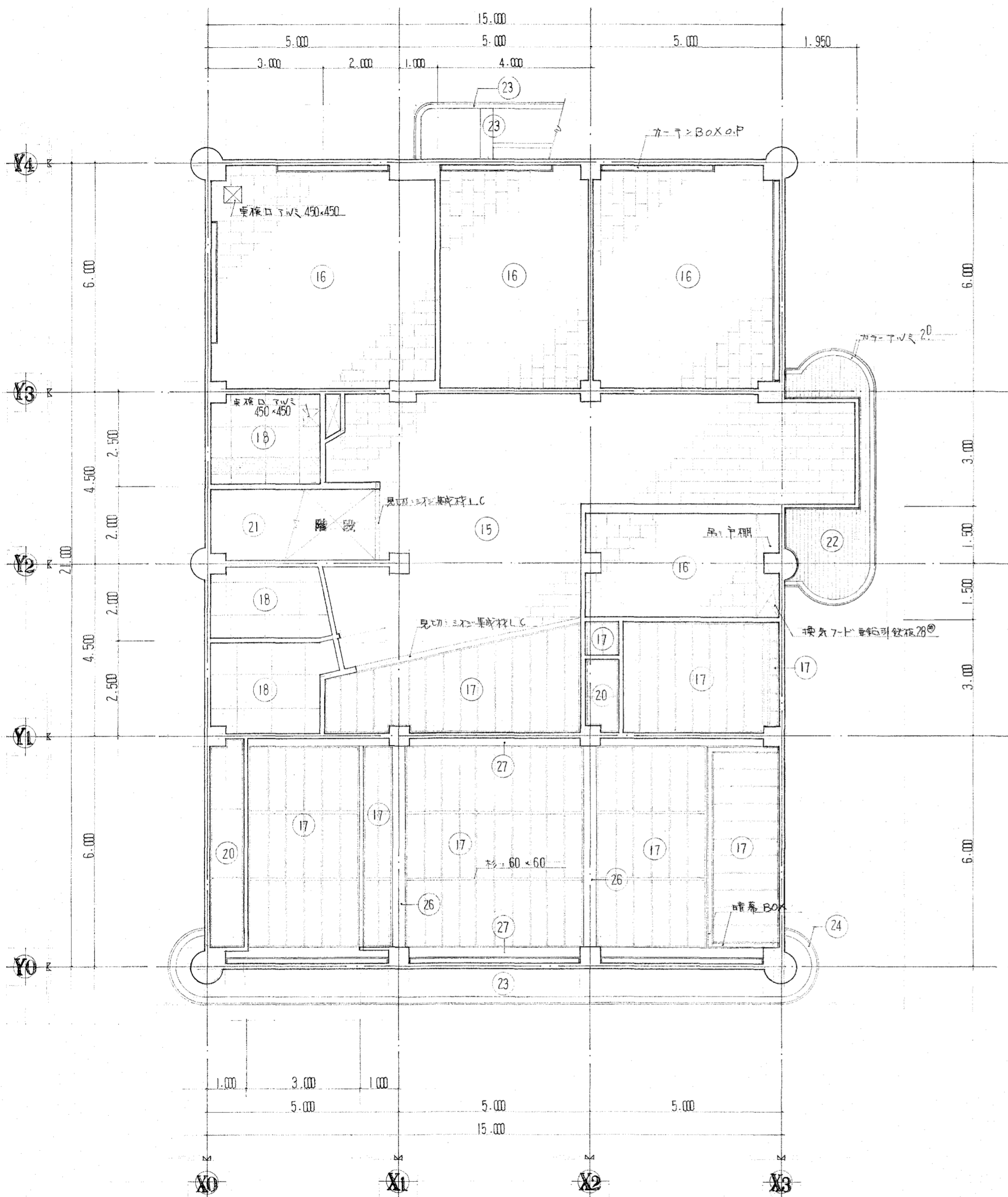
① 目地シーリング打替え MS-2(10×10)たてよこ共
 ② 外壁面既存サッシシーリング打替え MS-2(10×10)二重水切り共 (AW-4)は除く。



短計詳細図 S=1:30


高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事				図面番号	A-09
図面名	短計図	縮尺	1/30	作図	令和6年 6月 日	
係長	課長補佐	課長	図面番			



既存天井仕上表

(15)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 15	(20)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 20	(25)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 25
(16)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 16	(21)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 21	(26)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 26
(17)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 17	(22)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 22	(27)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 27
(18)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 18	(23)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 23	(28)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 28
(19)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 19	(24)	石膏ボードの貼付 石膏ボード 24		

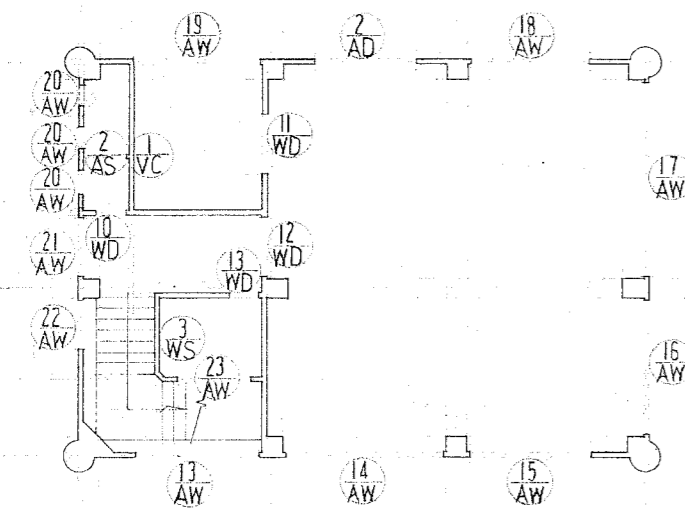
※ 上記表内  部は、施工数量調査及び外壁改修範囲外とする。

改修後	
(23)	水洗い工法のうえ、外装薄塗材E
(24)	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E

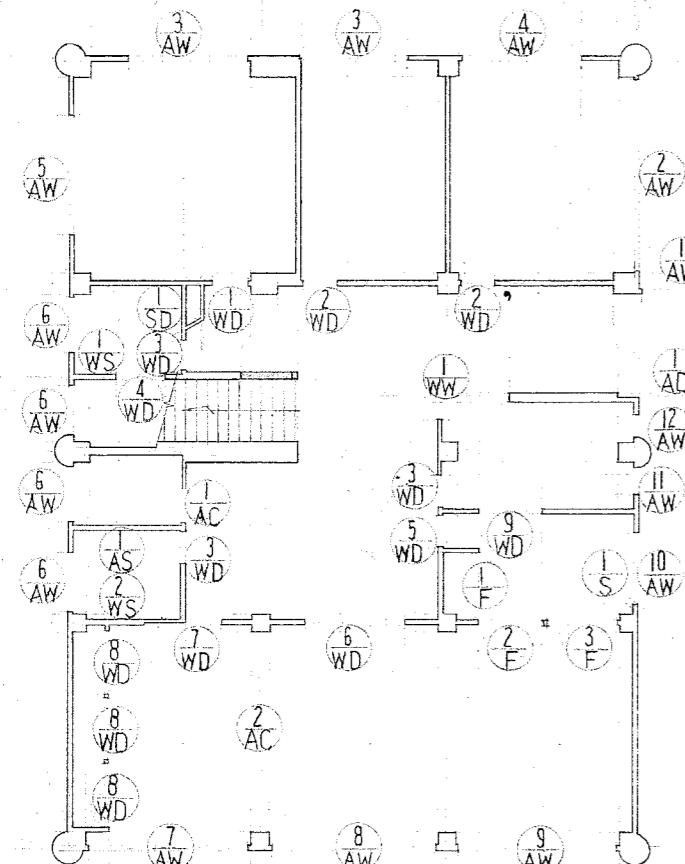
1 階天井伏図 s=1:100

2 階天井伏図 s=1:100

【 参考図 】



2 階



1 階

1. 特徴仕様 (A-1) 建築工事の参考図
2. 製作は、加工、組立、塗装、養生、取付の順に行い、養生は、取付完了後に行う。
3. 建築金物は、現場に据え付け、仕上がり後、施工者が確認する。
4. T.V.の仕様は、L-15×15、T.V.は、重量物は、85%以上、寸法は、18-18とする。
5. T.V.の強度は、数値以上とする。耐風圧強度 P=240Pa、水密性 W=35以上とする。
6. 施工時、
 - 建築図面に記載されている、取付位置、取付方法、取付順序、取付時期等は、必ず確認する。
 - 取付位置、取付方法、取付順序、取付時期等は、必ず確認する。
 - T.V.の仕様は、現場に据え付け、仕上がり後、施工者が確認する。
 - 現場に据え付け、仕上がり後、施工者が確認する。
 - 出入口、開口部、網戸、網戸のカット、網戸の設置、網戸の取付は、必ず確認する。

2. T.V.の仕様は、現場に据え付け、仕上がり後、施工者が確認する。
出入口、開口部、網戸、網戸のカット、網戸の設置、網戸の取付は、必ず確認する。

形状									
符号	①AD	見込	100	②AD	見込	70	①AW	見込	100
数量	1	塗装		1	塗装		1	塗装	
硝子	5%ト-メ	材料	カラー-T.V.シ	4%ト-メ強化ガラス	材料	ミロバー	5%ト-メ	材料	カラー-T.V.シ
金物	=4%ト-メ、T.V.クロス、70×100両面ガラス付付属金物一式			=4%ト-メ強化ガラス、T.V.クロス、ミロバー、T.V.クロス			=5%ト-メ、T.V.クロス、70×100両面ガラス付付属金物一式		
形状									
符号	②AW	見込	70	③AW	見込	70	④AW	見込	70
数量	1	塗装		2	塗装		1	塗装	
硝子	3%ト-メ	材料	ミロバー	70×100	材料	70×100	70×100	材料	70×100
金物	70×100両面ガラス付付属金物一式			70×100両面ガラス付付属金物一式			70×100両面ガラス付付属金物一式		
形状									
符号	⑤AW	見込	70	⑥AW	見込	70	⑦AW	見込	70
数量	1	塗装		4	塗装		1	塗装	
硝子	3%ト-メ	材料	ミロバー	4%ト-メ	材料	70×100 3%ト-メ 5%ト-メ	70×100	材料	70×100
金物	70×100両面ガラス付付属金物一式			70×100両面ガラス付付属金物一式			70×100両面ガラス付付属金物一式		
形状									
符号	⑧AW	見込	70	⑨AW	見込	70	⑩AW	見込	70
数量	1	塗装		1	塗装		1	塗装	
硝子	70×100 3%ト-メ 5%ト-メ	材料	ミロバー	70×100	材料	70×100	3%ト-メ	材料	カラー-T.V.シ
金物	70×100両面ガラス付付属金物一式			70×100両面ガラス付付属金物一式			70×100両面ガラス付付属金物一式		

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事		係長	課長補佐	課長	図面番号	A-11
図面名	建築表1【参考図】	縮尺	1/50	作図	令和6年 6月 日		

形状						
符号	11 AW	12 AW	13 AW	14 AW	15 AW	
数量	1	1	1	1	1	
硝子	4%強化ガラス	4%強化ガラス	4%強化ガラス	4%強化ガラス	4%強化ガラス	
金物	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	
形状						
符号	16 AW	17 AW	18 AW	19 AW	20 AW	
数量	1	1	1	1	3	
硝子	4%強化ガラス	4%強化ガラス	4%強化ガラス	4%強化ガラス	4%強化ガラス	
金物	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	
形状						
符号	21 AW	22 AW	23 AW	AS	AS	SD
数量	1	1	1	1	1	1
硝子	3%強化ガラス	3%強化ガラス	3%強化ガラス	6.8%強化ガラス	6.8%強化ガラス	6.8%強化ガラス
金物	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ	T=アルミ
形状						
符号						
数量						
硝子						
金物						

【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	小石木老人福祉センター外壁及びスロープ改修工事	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	建具表2【参考図】	縮尺	1/50	作図	令和6年 6月 日

A-12